

VI. 調查結果 養育者世帯

VI. 調査結果 養育者世帯

(1) 本人および世帯の状況について

① 年齢

質問1 あなたの現在（平成30年11月1日現在）の年齢は何歳ですか。

[該当する番号1つに○をつけてください。]

表：年齢（%）

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	11.5	7.7	73.1	0.0
	一般計(n=23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	13.0	8.7	69.6	0.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	1.8	0.0	0.0	0.0	3.5	1.8	0.0	10.5	14.0	68.4	0.0
	一般計(n=46)	2.2	0.0	0.0	0.0	4.3	2.2	0.0	13.0	10.9	67.4	0.0
	震災計(n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	72.7	0.0

現在の年齢については、「60歳以上」が73.1%と最も高く、「50～54歳」が11.5%となっている。一般世帯と比べ震災世帯は年齢層が高く、回答者である3世帯すべてが「60歳以上」となっている。

前回調査と比較すると、「60歳以上」が最も多いことには変わりはないが、その比率が高まっている。

② 同居している子ども以外の家族

質問2 同居している家族で、あなたが養育されている子どもさん以外は何人ですか。

[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を（ ）に記入してください。]

表：同居している家族の人数と家族構成（%）

		1人	2人	3人	4人	5人	いない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	46.2	15.4	11.5	7.7	0.0	11.5	7.7
	一般計(n=23)	43.5	17.4	13.0	8.7	0.0	13.0	4.3
	震災計(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

養育している子ども以外の同居家族の人数は、全体としては「1人」（46.2%）が最も多く、「2人」（15.4%）、「3人」、「いない」（各11.5%）がこれに続いた。

表：家族構成（%）

		父母	祖父母	兄弟姉妹	子の配偶者	その他	いない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	19.2	7.7	3.8	11.5	57.7	11.5	7.7
	一般計(n=23)	21.7	8.7	0.0	13.0	60.9	13.0	4.3
	震災計(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3

家族構成については、全体としてみると父母・祖父母以外の「その他」（57.7%）との同居が最も多く、「父母」（19.2%）、「子の配偶者」、「いない」（各11.5%）の順となっている。

③ 養育している 20 歳未満の子ども

質問 3 あなたが養育されている子どもさん（平成 30 年 11 月 1 日現在で 20 歳未満の者に限る。）の生年月を記入し、性別、同居の別、就学・就労状況欄の当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をし、生計を同じくしている人を含みます。

※6 人を超える場合は、欄外に記入してください。

表：生計を共にしている 20 歳未満の子どもの人数

		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	69.2	19.2	3.8	0.0	0.0	7.7
	一般計(n=23)	73.9	13.0	4.3	0.0	0.0	8.7
	震災計(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0

生計を共にしている 20 歳未満の子どもの人数については、「1 人」（69.2%）が最も多く、「2 人」（19.2%）、「3 人」（3.8%）の順になっている。震災世帯 3 世帯のうち、2 世帯は「2 人」と回答した。

表：中学校卒業後の進路

		高校	高等専門 学校	専修学校・ 各種学校	就労	その他
平成30年度	養育者世帯計(n=13)	92.9	0.0	0.0	0.0	7.1
	一般計(n=11)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=2)	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3

中学校卒業後の進路については、「高校」（92.9%）が圧倒数を占め、「その他」（7.1%）がこれに続いた。今回調査では、一般世帯・震災世帯共に就業者はいなかった。

表：高等学校卒業後の進路

		高等専門 学校	短大	大学	専修学校・ 各種学校	就労	その他
平成30年度	養育者世帯計(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

高等学校卒業後の進路については、今回調査で対象となる世帯は一般世帯 1 世帯のみで、「高等専門学校」と回答している。

④ 子どもと養育者との続柄

質問 4 あなたは、養育されている子どもさんからみて次のどれにあたりますか。

[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：子どもと養育者の続柄（％）

		祖父	祖母	伯父・叔父	伯母・叔母	兄	姉	他の親族	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	50.0	30.8	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	一般計(n=23)	47.8	30.4	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0
	震災計(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	42.1	38.6	10.5	3.5	0.0	0.0	0.0	3.5	1.8
	一般計(n=46)	41.3	41.3	8.7	2.2	0.0	0.0	0.0	4.3	2.2
	震災計(n=11)	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

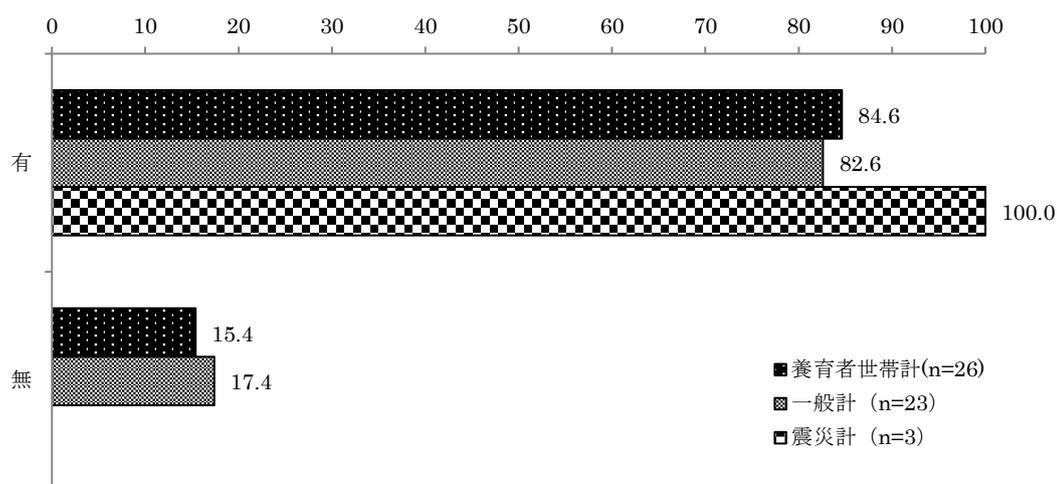
子どもと養育者との続柄については、全体としてみると「祖父」が50.0%で最も高く、次いで「祖母」が30.8%となった。

前回調査と比較すると、全体として「祖父」の割合が最も高いことには変わりはないが、今回調査においては「祖母」の割合がやや低くなっている。

⑤ 配偶者の有無

質問 5 あなたには、配偶者はいらっしゃいますか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

図：配偶者の有無（％）【平成30年度】



配偶者の有無を尋ねたところ、「有」が84.6%と圧倒数を占める。詳細をみると、震災世帯では100%、一般世帯は82.6%の結果となった。「無」は15.4%となり、一般世帯のみとなっている。

⑥ 養育者世帯となった理由

質問6 養育されている子どもさんの、父母のいない理由は何ですか。

[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：養育者世帯となった理由（父）（％）

		病死	災害、事故死	その他死亡	離婚	未婚の母	遺棄	配偶者の心身障害	家出、行方不明	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	0.0	7.7	3.8	30.8	11.5	3.8	0.0	7.7	7.7	26.9
	一般計(n=23)	0.0	4.3	4.3	34.8	13.0	0.0	0.0	8.7	8.7	26.1
	震災計(n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	8.8	8.8	1.8	42.1	10.5	3.5	0.0	1.8	7.0	15.8
	一般計(n=46)	8.7	0.0	2.2	50.0	10.9	2.2	0.0	2.2	8.7	15.2
	震災計(n=11)	9.1	45.5	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2

父親がいない理由をみると、「離婚」が30.8%で最も高く、次いで「未婚の母」が11.5%の順となった。一般世帯においては「離婚」が圧倒的に多いと言えるが、震災世帯においては「災害、事故死」と「遺棄」、「無回答」が各1世帯の結果となった。

前回調査と比較すると、「離婚」、「未婚の母」の順で変わりはないが、トップである「離婚」の比率はやや下がっている。

表：養育者世帯となった理由（母）（％）

		病死	災害、事故死	その他死亡	離婚	未婚の父	遺棄	配偶者の心身障害	家出、行方不明	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	19.2	7.7	0.0	26.9	7.7	3.8	0.0	7.7	11.5	15.4
	一般計(n=23)	17.4	0.0	0.0	30.4	8.7	4.3	0.0	8.7	13.0	17.4
	震災計(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	22.8	12.3	3.5	28.1	3.5	1.8	0.0	10.5	5.3	12.3
	一般計(n=46)	21.7	2.2	4.3	30.4	4.3	2.2	0.0	13.0	6.5	15.2
	震災計(n=11)	27.3	54.5	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親がいない理由をみると、「離婚」が26.9%で最も高く、次いで「病死」が19.2%となった。ただ、震災世帯では「離婚」はおらず、3世帯中2世帯が「災害、事故死」と回答している。

前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはない。

⑦ 養育者世帯になってからの年数

質問7 養育者になられてから現在までの年数は何年ですか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：養育者になってからの年数（％）

		2年未満	2～5年未満	5～8年未満	8～11年未満	11～15年未満	15～18年未満	18～20年未満	20年以上	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	19.2	15.4	19.2	26.9	3.8	3.8	0.0	0.0
	一般計(n=23)	8.7	21.7	8.7	21.7	30.4	4.3	4.3	0.0	0.0
	震災計(n=3)	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	7.0	31.6	12.3	22.8	19.3	5.3	1.8	0.0	0.0
	一般計(n=46)	8.7	17.4	15.2	26.1	23.9	6.5	2.2	0.0	0.0
	震災計(n=11)	0.0	90.9	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

養育者世帯になってからの年数については、全体としてみると「11～15年未満」が26.9%で最も高い。次いで、「2～5年未満」及び「8～11年未満」が19.2%となった。ただ、震災世帯では3世帯中2世帯が「5～8年未満」という結果となった。

前回調査と比較すると、一般世帯では「8～11年未満」の割合が小さくなった一方で、「11～15年未満」の割合が大きくなっている。震災世帯についてはトップが「2～5年未満」から「5～8年未満」にスライドしていることがわかる。

⑧ 養育者世帯になった当時困ったこと

質問8 養育者世帯になった当時、最も困ったことは何ですか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：養育者世帯になった当時困ったこと（％）

		生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	40.7	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7	37.0	3.7	3.7
	一般計(n=23)	45.8	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	33.3	4.2	4.2
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	47.4	3.5	1.8	3.5	3.5	3.5	29.8	3.5	3.5
	一般計(n=46)	52.2	2.2	0.0	0.0	4.3	4.3	28.3	4.3	4.3
	震災計(n=11)	27.3	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	36.4	0.0	0.0

養育者世帯になった当時、最も困ったことを尋ねたところ、全体としては「生活費」が40.7%で最も高く、次いで「子どもの世話や教育」が37.0%となった。震災世帯においては3世帯中2世帯が「子どもの世話や教育」と回答している。

前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはない。

⑨ 東日本大震災前の住居状況

質問 9 東日本大震災前の住居の状況は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：震災前の住居状況（％）

		持ち家(分譲マンションを含む)	父母等の家に同居	借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)	公営・公社・公団の賃貸住宅	間借り	会社の社宅等	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	73.1	7.7	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8
	一般計(n=23)	73.9	8.7	8.7	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	64.9	5.3	14.0	7.0	1.8	1.8	1.8	3.5
	一般計(n=46)	60.9	6.5	15.2	8.7	2.2	0.0	2.2	4.3
	震災計(n=11)	81.8	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0

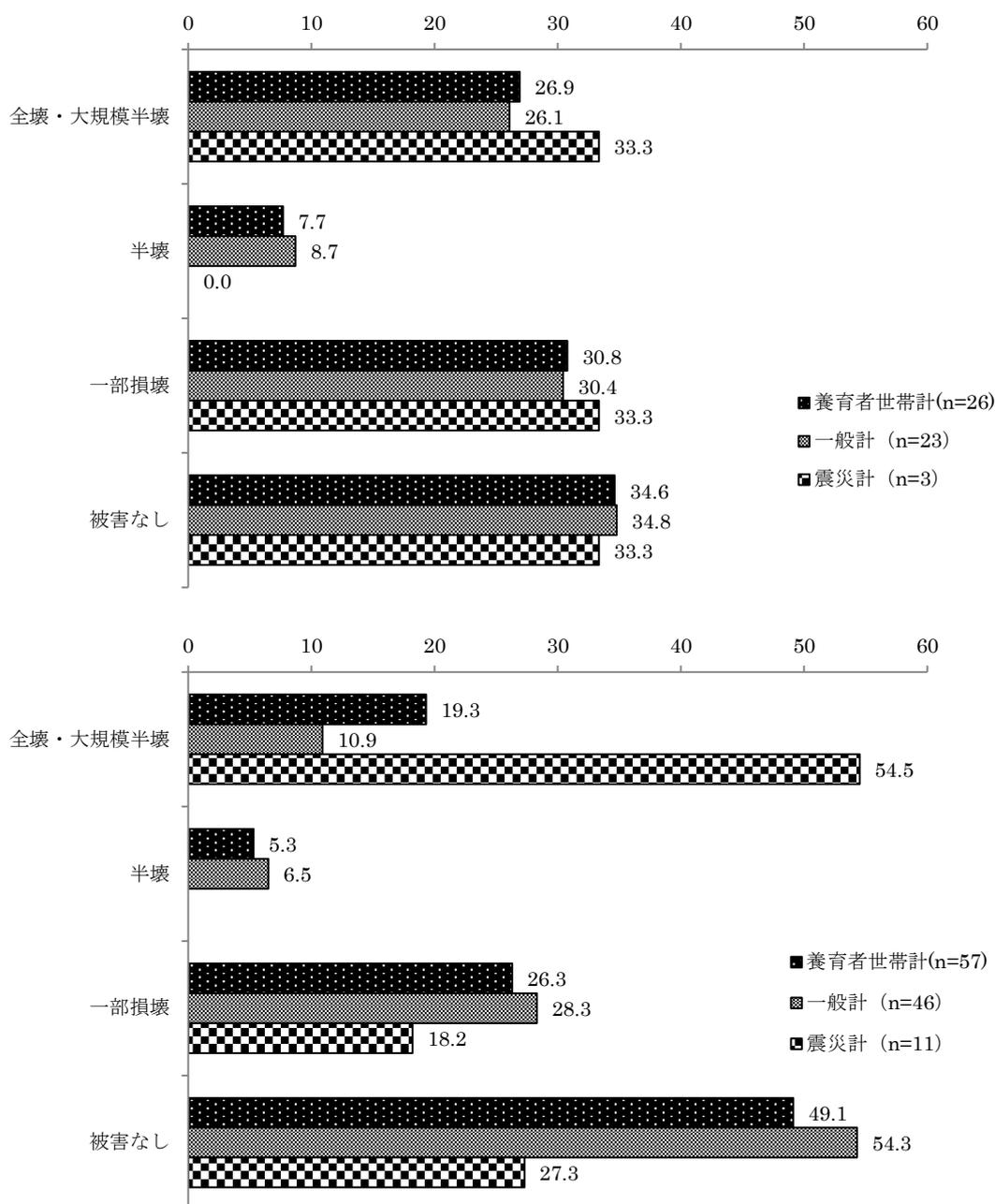
東日本大震災前の住居の状況を尋ねたところ、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 73.1%と最も高い割合となった。震災世帯は3世帯中2世帯が「持ち家」と回答している。

前回調査と比較しても、「持ち家（分譲マンションを含む）」が圧倒数を占める傾向に変わりはないが、「借家」の割合はやや小さくなっていることが確認された。

⑩ 東日本大震災による住居の被害状況

質問 10 東日本大震災前の住居は、被害がありましたか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：震災による住居の被害状況（%）【上：平成 30 年度、下：平成 25 年度】

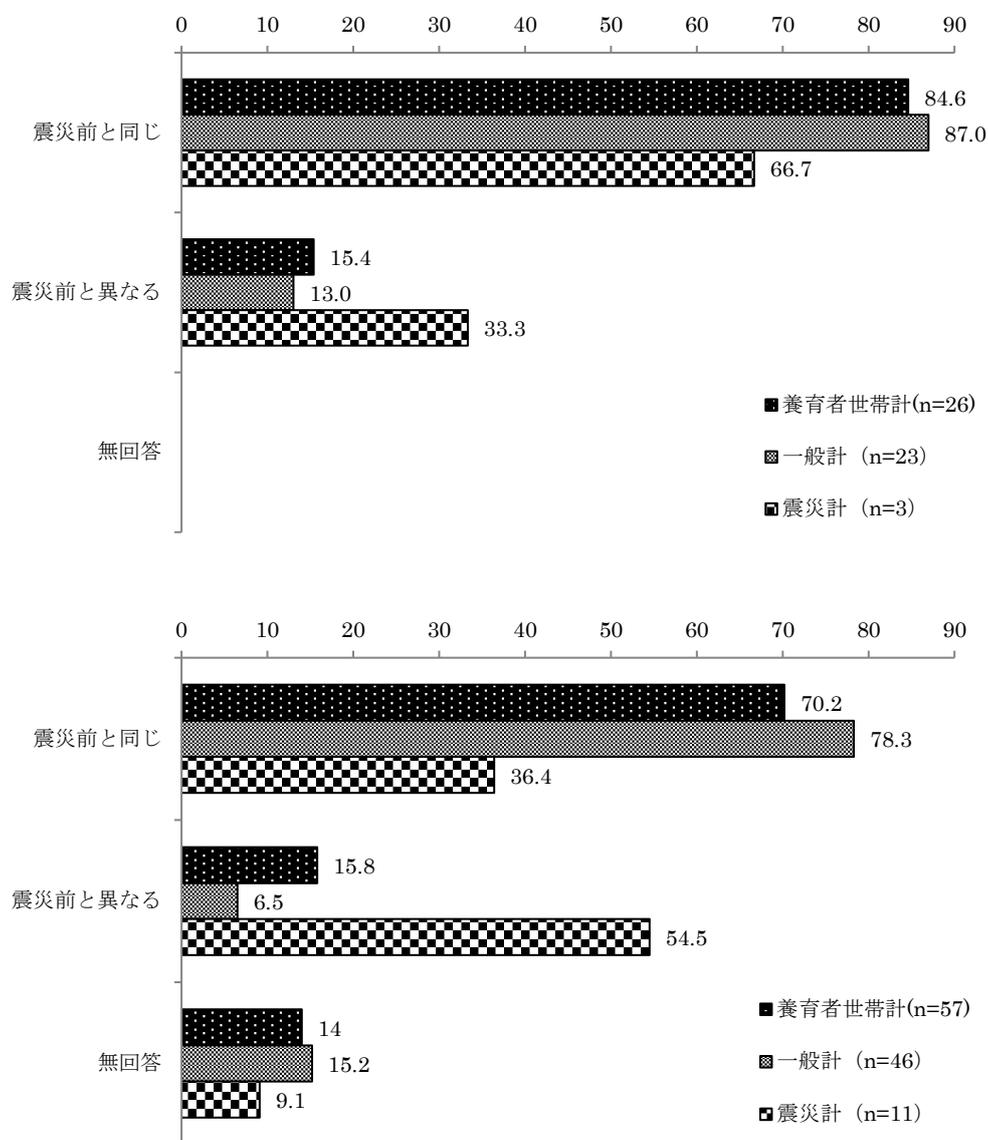


東日本大震災による住居の被害状況を尋ねたところ、全体としては「被害なし」が 34.6%で最も高く、「一部損壊」が 30.8%の順となった。前回調査と比較すると、全体としては「被害なし」の割合が小さくなり、「全壊・大規模半壊」や「一部損壊」の割合はやや大きくなっている。

⑪ 東日本大震災前後の住居の変化

質問 11 現在の住居は、東日本大震災の前と後では異なりますか。異なる場合は、どのような状況ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：震災前後の住居の変化 (%)【上：平成 30 年度、下：平成 25 年度】



東日本大震災前後の住居の変化では、全体としては「震災前と同じ」が 84.6%で最も高く、「震災前と異なる」は 15.4%にとどまった。震災世帯でも 3 世帯中 2 世帯が「震災前と同じ」と回答した。前回調査と比較しても全体としての傾向に大きな変化はないが、震災世帯に注目すると、「震災前と異なる」の割合が小さくなり、「震災前と同じ」の割合が大きくなっている。

⑫ 東日本大震災後の住居状況

【質問 12 は、質問 11 で「2. 震災前と異なる」とお答えの方にかがいます。】

質問 12 あなたの東日本大震災後の住居の状況は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：震災後の住居状況（％）

		持ち家を再 建・購入した	仮設住宅・ みなし仮設 住宅	災害公営住 宅	父母や親族 等の家に同 居	借家(民間 の借家・ア パート・賃貸 マンション)	公営・公社・ 公団の賃貸 住宅	間借り	会社の社宅 等	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=4)	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	一般計(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	震災計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=9)	33.3	44.4	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	一般計(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=6)	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

東日本大震災前と現在で住居が異なる人に東日本大震災後の住居の状況を尋ねたところ、全体としては「持ち家を再建・購入した」、「仮設住宅・みなし仮設住宅」、「公営・公社・公団の賃貸住宅」、「その他」が 25.0%で同率となった。本設問で唯一の回答者である震災世帯は「公営・公社・公団の賃貸住宅」と回答している。

前回調査と比較すると、全体としては「仮設住宅・みなし仮設住宅」、「持ち家を再建・購入した」の割合が小さくなっている。

(2) 就労・経済の状況について

① 養育者世帯になる前の勤労形態

質問 13 あなたが養育者世帯になる前の勤労形態は何でしたか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：養育者世帯になる前の勤労形態（％）

		自営業	常時雇用者 (正規の職員・従業員)	臨時雇用者 (パートを含む)	労働者派遣 事業所の派遣社員	会社などの 役員	内職	家事手伝い (家族従業者)	その他	無職	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	42.3	11.5	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	19.2	7.7
	一般計(n=23)	13.0	47.8	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	21.7	4.3
	震災計(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

養育者世帯になる前の勤労形態を尋ねたところ、全体としてみると「常時雇用者（正規の職員・従業員）」が42.3%と最も高く、次いで「無職」が19.2%となった。震災世帯では、「臨時雇用者（パートを含む）」、「内職」が33.3%で、常時雇用者はいなかった。

② 勤労状況の変化

質問 14 養育者世帯になったことで勤労の状況は変わりましたか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：養育者世帯になる前の勤労形態（％）

		仕事は変わらない	同じ職場内で別の仕事に変わった	転職した	仕事を辞めた	仕事に就いた	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	73.1	0.0	3.8	7.7	0.0	7.7	7.7
	一般計(n=23)	73.9	0.0	4.3	4.3	0.0	8.7	8.7
	震災計(n=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	47.4	0.0	3.5	21.1	1.8	24.6	1.8
	一般計(n=46)	47.8	0.0	2.2	23.9	2.2	21.7	2.2
	震災計(n=11)	45.5	0.0	9.1	9.1	0.0	36.4	0.0

養育者世帯になったことでの勤労の状況の変化を尋ねたところ、全体としてみると「仕事は変わらない」が73.1%と圧倒数を占めた。震災世帯については3世帯中2世帯が「仕事は変わらない」と回答している。

前回調査と比較すると、「仕事を辞めた」や「その他」の割合が小さくなっている。

③ 転職理由

【質問 15 は、質問 14 で「3. 転職した」とお答えの方にうかがいます。】

質問 15 転職した理由は何ですか。[該当する番号 2 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

表：転職した理由 (%)

		収入がよくない	勤め先が自宅から遠い	健康がすぐれない	仕事の内容がよくない	職場環境になじめない	労働時間があわない	社会保険がない又は不十分	休みが少ない	身分が安定していない	経験や能力が発揮できない	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	一般計(n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	震災計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

今回の調査では、「収入がよくない」のみの回答であった。前回調査と比較すると、「健康がすぐれない」、「その他」の回答はなくなった。

④ 勤労形態

質問 16 あなたの現在の勤労形態は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：勤労形態 (%)

		自営業	常時雇用者 (正規の職員・従業員)	臨時雇用者 (パートを含む)	労働者派遣 事業所の派遣社員	会社などの 役員	内職	家事手伝い (家族従事者)	その他	無職	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	38.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.6	3.8
	一般計(n=23)	13.0	39.1	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	4.3
	震災計(n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	21.1	17.5	8.8			0.0	0.0	7.0	42.1	3.5
	一般計(n=46)	23.9	15.2	10.9			0.0	0.0	6.5	39.1	4.3
	震災計(n=11)	9.1	27.3	0.0			0.0	0.0	9.1	54.5	0.0

現在の勤労形態を尋ねたところ、全体としては「常時雇用者（正規の職員・従業員）」が 38.5% と最も高く、次いで「無職」が 34.6% となった。

前回調査と比較すると、「無職」や「自営業」の割合は小さくなり、「常時雇用者」や「臨時雇用者」の割合は大きくなった。

⑤ 仕事内容

【質問 17～22 は、質問 16 で 1～8（「9. 無職」を除く）とお答えの方にかがいます。】

質問 17 あなたの現在の仕事の内容は何ですか。【該当する番号 1 つに ○ をつけてください。】

表：仕事の内容（％）

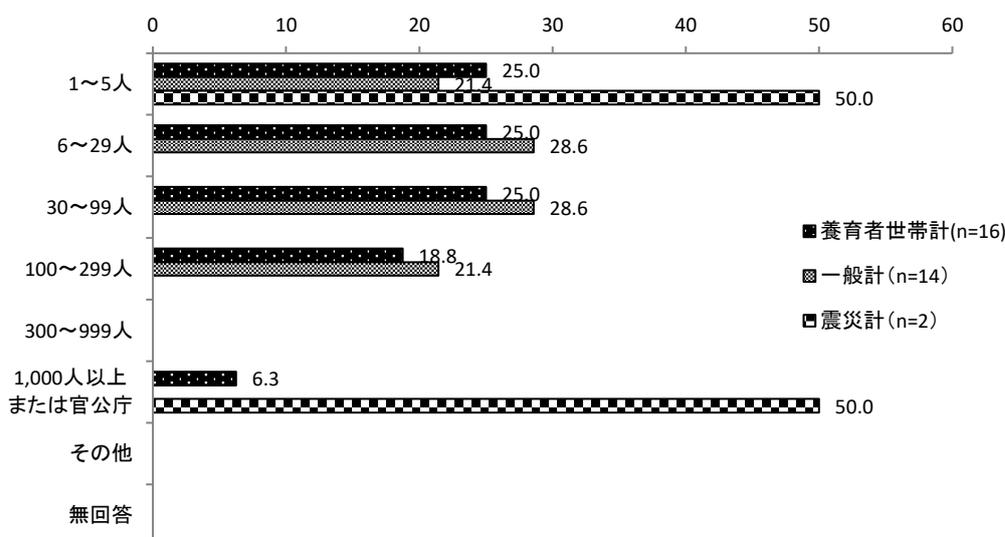
		専門的職業 (医師、看護師、保健師・保育士・教員など資格を有するもの)	管理的職業 (会社や団体の役員など)	事務(一般事務のほか、外勤事務を含む)	販売(商品の販売、店員、セールスなど)	運輸・通信 (職業運転士・同助手、荷役など運輸従事者、通信従事者)	農業、林業、漁業	技能職(製造、加工、組立、建設、修理などの従事者)	サービス業 (飲食店、理容・美容店など接客やサービス業従事者)	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=16)	0.0	6.3	6.3	18.8	18.8	0.0	31.3	6.3	12.5	0.0
	一般計(n=14)	0.0	7.1	7.1	21.4	14.3	0.0	35.7	7.1	7.1	0.0
	震災計(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=31)	3.2	0.0	0.0	6.5	3.2	9.7	29.0	12.9	22.6	12.9
	一般計(n=26)	3.8	0.0	0.0	7.7	3.8	11.5	23.1	11.5	23.1	15.4
	震災計(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0

現在の仕事内容を尋ねたところ、全体としてみると「技能職」が 31.3%、「販売」・「運輸・通信」が各 18.8%と続いた。前回調査と比較すると、「技能職」が最も高いことには変わりはなく、「農業・林業・漁業」の回答はなくなった。

⑥ 勤務先の規模

質問 18 あなたの勤務先の本社、支社、工場などを含めた企業全体の規模はどれくらいですか。【該当する番号 1 つに ○ をつけてください。】

図：勤務先の規模（％）【平成 30 年度】

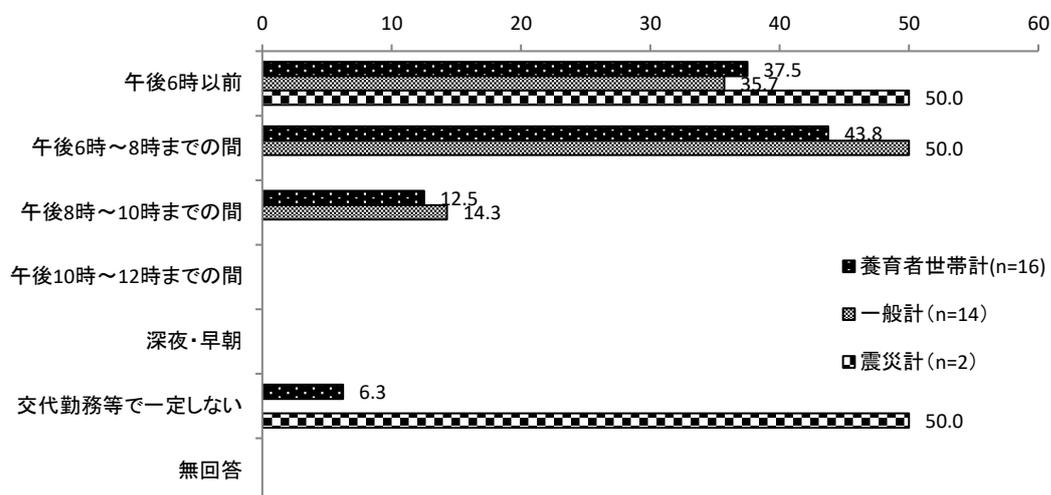


勤務先の本社、支社、工場などを含めた企業全体の規模を尋ねたところ、「1～5人」、「6～29人」、「30～199人」が 25.0%で最も高い。震災世帯をみると、「1～5人」、「1,000人以上または官公庁」が 50.0%となっている。

⑦ 帰宅時間

質問 19 あなたの帰宅時間（自宅で営業している場合には終業する時間）は、何時頃ですか。
[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：帰宅時間（%）【平成 30 年度】



帰宅時間（自宅で営業している場合には終業する時間）を尋ねたところ、「午後 6 時～8 時までの間」が 43.8%、「午後 6 時以前」が 37.5%の順となった。

⑧ 仕事を探した方法

質問 20 あなたは、今の仕事をどのような方法で探しましたか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：仕事を探した方法（%）

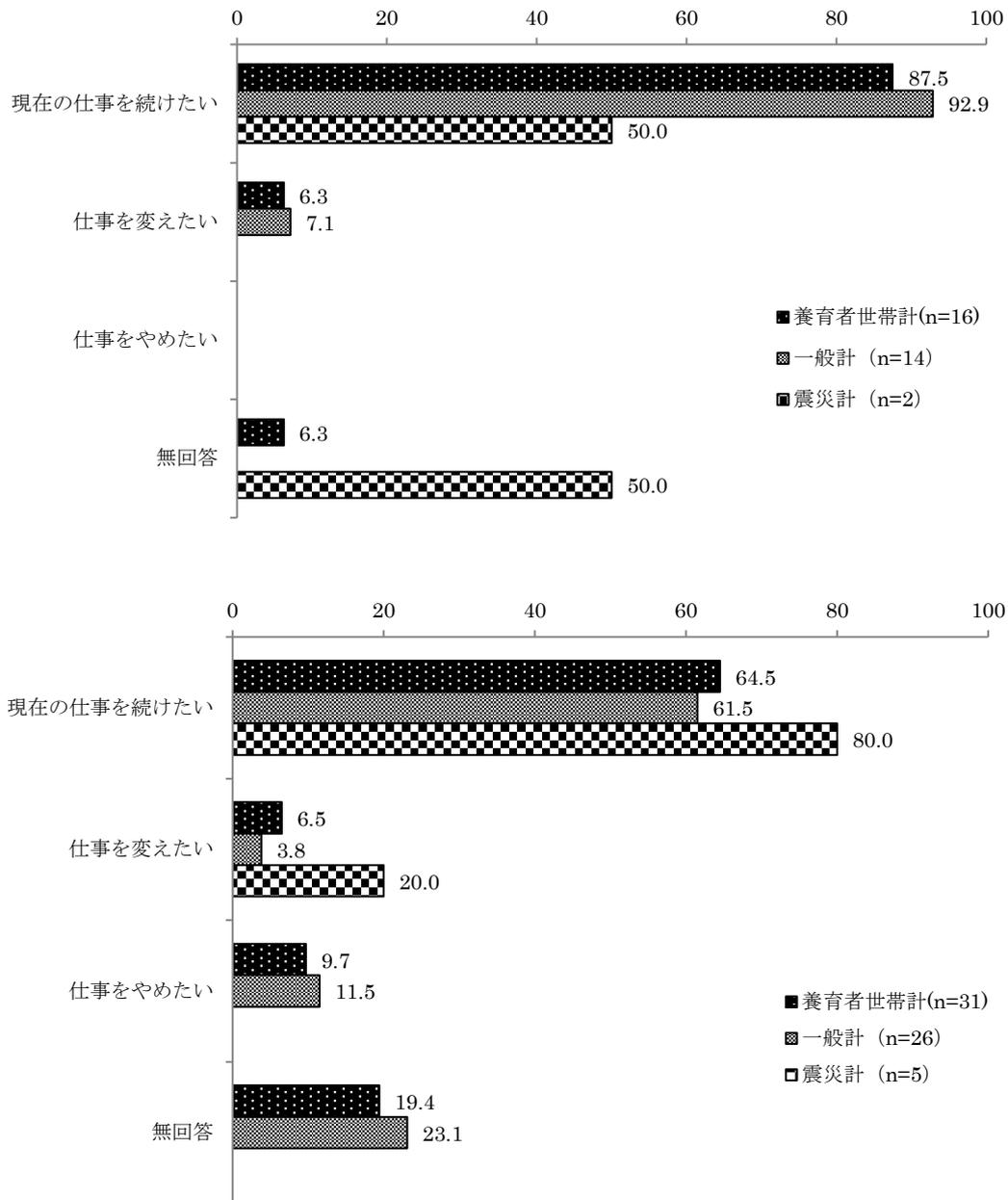
		公共職業安定所(ハローワーク)の紹介	ひとり親家庭支援員などの紹介	知人・友人などの紹介	家族や親族の紹介	学校からの紹介	企業の募集広告	新聞・チラシ・雑誌などの求人広告	探す必要はなかった	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=16)	6.3	0.0	37.5	6.3	6.3	6.3	12.5	18.8	6.3	0.0
	一般計(n=14)	7.1	0.0	35.7	7.1	7.1	0.0	14.3	21.4	7.1	0.0
	震災計(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=31)	3.2	0.0	32.3	3.2	3.2	3.2	0.0	16.1	16.1	22.6
	一般計(n=26)	3.8	0.0	30.8	3.8	0.0	3.8	0.0	15.4	15.4	26.9
	震災計(n=5)	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0

仕事を探した方法をみると、「知人・友人などの紹介」が 37.5%で最も高い。次いで「探す必要はなかった」が 18.8%となった。前回調査と比較しても、「知人・友人などの紹介」がトップであることに変わりはない。

⑨ 転職する希望

質問 21 あなたは現在、転職する希望がありますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：転職する希望 (%)【上：平成 30 年度、下：平成 25 年度】



転職希望について尋ねたところ、「現在の仕事を続けたい」が 87.5%で最も高く、「仕事をやめたい」は 0%となった。前回調査と比較すると、「現在の仕事を続けたい」が最も高いことには変わりはないが、23.0ポイント上昇した。

⑩ 仕事を变えたい理由

【質問 22 は、質問 21 で「2. 仕事を变えたい」とお答えの方にかがいます。】

質問 22 仕事を变えたい理由は何ですか。[該当する番号 2 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

表：仕事を变えたい理由 (%)

		収入がよくない	子どもと過ごす時間が少ない	勤め先が自宅から遠い	健康がすぐれない	仕事の内容がよくない	職場環境になじめない	労働時間があわない	社会保険がない又は不十分	休みが少ない	身分が安定していない	経験や能力が発揮できない	降格	その他	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=2)	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	一般計(n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	震災計(n=1)	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0

今回調査では、「仕事の内容がよくない」のみの回答となった。

前回調査時は、「健康がすぐれない」、「子どもと過ごす時間が少ない」の回答であった。

⑪ 仕事に就かない理由

【質問 23 は、質問 16 で「9. 無職」とお答えの方にかがいます。】

質問 23 あなたが仕事に就かない (就けない) 主な理由は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：仕事に就かない (就けない) 理由 (%)

		自分が病弱	子どもの世話、病気	他の家族の世話や介護	適職がない、勤務条件があわない	働く必要がない	高齢のため	就職のための技能、技術習得中	その他	現在求職中である	就職は考えていない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=9)	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0	0.0	0.0		0.0
	一般計(n=8)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	0.0		0.0
	震災計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=24)	16.7	4.2	0.0	4.2	8.3	62.5	0.0	4.2		0.0	0.0
	一般計(n=18)	16.7	5.6	0.0	5.6	0.0	66.7	0.0	5.6		0.0	0.0
	震災計(n=16)	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0		0.0	0.0

仕事に就かない理由を尋ねたところ、「高齢のため」が 88.9%で最も高く、次いで「子どもの世話、病気」が 11.1%となった。前回調査をみると、「高齢のため」が 62.5%で最も高く、次いで「自分が病弱」が 16.7%であった。

⑫ 持っている資格

質問 24 あなたがお持ちの主な資格等は何ですか。[該当する番号 3 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

表：持っている資格 (%)

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=26)			養育者世帯計(n=57)		
	一般計 (n=23)	震災計 (n=3)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)	
栄養士	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
調理師	3.8	4.3	0.0			
保育士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
准看護師	3.8	4.3	0.0			
理容師・美容師	0.0	0.0	0.0	7.0	6.5	9.1
医療事務	3.8	4.3	0.0	1.8	2.2	0.0
介護福祉士	3.8	4.3	0.0	1.8	2.2	0.0
ホームヘルパー	7.7	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0
教員	0.0	0.0	0.0			
外国語	0.0	0.0	0.0			
理学療法士	0.0	0.0	0.0			
作業療法士	3.8	4.3	0.0			
自動車運転免許	76.9	78.3	66.7	47.4	45.7	54.5
パソコン	7.7	8.7	0.0	1.8	2.2	0.0
和洋裁・編物・着付	7.7	4.3	33.3	0.0	0.0	0.0
簿記・会計	7.7	8.7	0.0	1.8	2.2	0.0
行政書士	0.0	0.0	0.0			
その他	15.4	17.4	0.0	12.3	10.9	18.2
なし	19.2	21.7	0.0	29.8	28.3	36.4
無回答	0.0	0.0	0.0	10.5	13.0	0.0

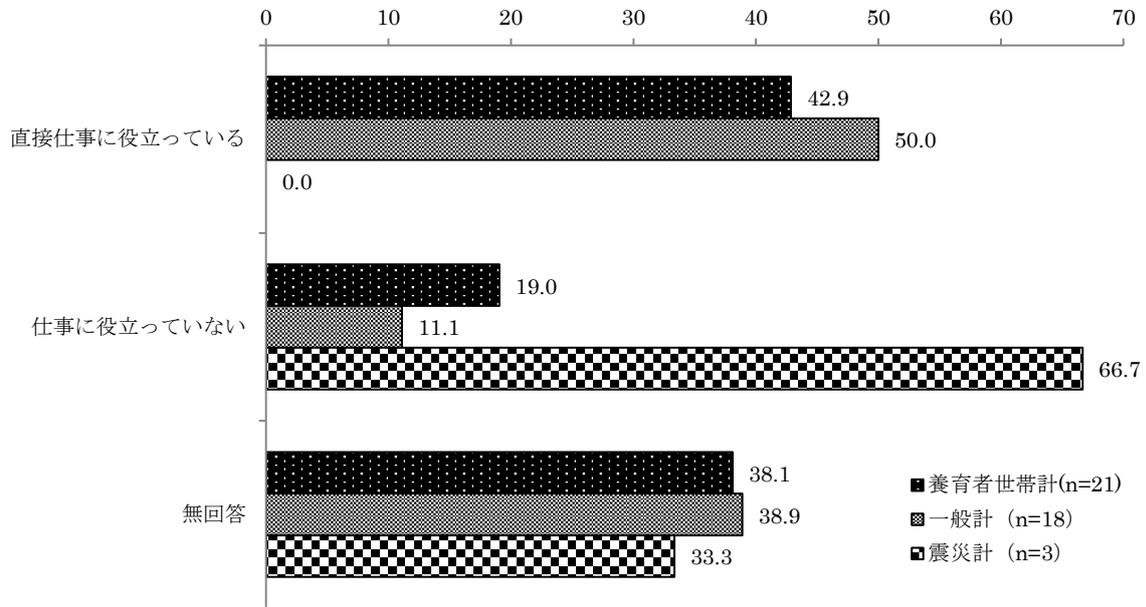
持っている資格を尋ねたところ、「自動車運転免許」が76.9%で最も高く、次いで「なし」が19.2%となった。前回調査と比較とすると、「自動車運転免許」、「なし」の順に変わりはないが、「自動車運転免許」が29.5ポイント上昇し、「なし」が10.6ポイント低下する結果となった。

⑬ 資格は役立っているか

【質問 25 は、質問 24 で「20. なし」以外に○をつけた方にうかがいます。】

質問 25 あなたがお持ちの資格は仕事に役立っていますか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：資格は役立っているか (%) 【平成 30 年度】



持っている資格が仕事に役立っているかを尋ねたところ、「直接仕事に役立っている」が 42.9%、「仕事に役立っていない」が 19.0%となった。震災世帯は一般世帯に比べ「仕事に役立っていない」が 66.7%と高い。

⑭ 今後身につけたい資格・特技

質問 26 あなたが今後仕事のために身につけたい資格等は何ですか。

[該当する番号 2 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

表：身につけたい資格 (%)

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=26)			養育者世帯計(n=57)		
	一般計 (n=23)	震災計 (n=3)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)	
栄養士	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
調理師	0.0	0.0	0.0			
保育士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
准看護師	0.0	0.0	0.0			
理容師・美容師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療事務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護福祉士	0.0	0.0	0.0	3.5	4.3	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
教員	0.0	0.0	0.0			
外国語	0.0	0.0	0.0			
理学療法士	0.0	0.0	0.0			
作業療法士	0.0	0.0	0.0			
自動車運転免許	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
パソコン	7.7	8.7	0.0	12.3	8.7	27.3
和洋裁・編物・着付	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
簿記・会計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
行政書士	0.0	0.0	0.0			
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
なし	76.9	78.3	66.7	57.9	54.3	72.7
無回答	15.4	13.0	33.3	26.3	32.6	0.0

今後身につけたい資格は、「なし」が 76.9%で最も高く、次いで「パソコン」が 7.7%となった。前回調査と比較すると、「なし」の比率が高まり、「パソコン」の比率が下がっている。

⑮ 年間収入（世帯）

質問 27 あなたの世帯の平成 29 年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む全世帯員の合計額）。[金額を記入してください。]

表：年間収入（世帯）（%）

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	収入なし	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	7.7	11.5	11.5	23.1	7.7	3.8	15.4	0.0	19.2
	一般計(n=23)	8.7	13.0	13.0	21.7	4.3	4.3	17.4	0.0	17.4
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	12.3	26.3	22.8	14.0	12.3	1.8	3.5	1.8	5.3
	一般計(n=46)	15.2	23.9	28.3	15.2	6.5	0.0	4.3	2.2	4.3
	震災計(n=11)	0.0	36.4	0.0	9.1	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1

年間収入（世帯）をみると、「300～400万円未満」が23.1%で最も高く、「600万円以上」が15.4%と続く。前回調査と比較すると、「100～200万円未満」が26.3%で最も高かったのに対し、11.5%まで低下した。続いて、「200～300万円未満」が22.8%であったが、同様に11.5%まで低下した。

⑯ 年間収入（個人）

質問 28 あなたの平成 29 年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む合計額）。[金額を記入してください。]

表：年間収入（個人）（%）

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	収入なし	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	3.8	23.1	11.5	23.1	7.7	7.7	3.8	3.8	15.4
	一般計(n=23)	4.3	26.1	13.0	21.7	4.3	8.7	4.3	4.3	13.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

年間収入（個人）を尋ねたところ、「100～200万円未満」、「300～400万円未満」が23.1%となった。次いで、「200～300万円未満」が11.5%となり、400万円未満で過半数を超えた。

⑰ 年間就労収入（個人）

質問 29 あなたの平成 29 年の年間就労収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス等を含む合計額）。[金額を記入してください。]

表：年間就労収入（個人）（%）

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	収入なし	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	7.7	11.5	15.4	11.5	11.5	0.0	3.8	15.4	23.1
	一般計(n=23)	8.7	8.7	17.4	13.0	13.0	0.0	4.3	17.4	17.4
	震災計(n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

平成 29 年の年間就労収入（税金等控除前）は、「200 万～300 万未満」が 15.4%、「100～200 万未満」、「300 万～400 万未満」、「400 万～500 万未満」が 11.5%で同率となり、500 万未満で過半数を超えた。

(3) 福祉制度の利用状況について

① 社会保険の加入状況

質問 30 あなたの現在の社会保険の加入の状況は、どのようになっていますか。

[該当する番号 1つに○をつけてください。]

ア 雇用保険

表：雇用保険の加入状況（％）

		加入している	加入していない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	65.4	26.9	7.7
	一般計(n=23)	65.2	26.1	8.7
	震災計(n=3)	66.7	33.3	0.0

社会保険の加入状況（雇用保険）を尋ねたところ、「加入している」が 65.4%で最も高い。また、「加入していない」は 26.9%となった。

イ 健康保険

表：健康保険の加入状況（％）

		被用者保険に加入している	国民健康保険に加入している	その他	加入していない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	57.7	34.6	3.8	0.0	3.8
	一般計(n=23)	56.5	34.8	4.3	0.0	4.3
	震災計(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

※被用者保険＝協会けんぽ、組合健保、共済組合等

社会保険の加入状況（健康保険）を尋ねたところ、被用者保険が 57.7%で最も高く、次いで、「国民健康保険に加入している」が 34.6%となった。なお、「加入していない」の回答はなかった。

ウ 公的年金

表：公的年金の加入状況（％）

		被用者年金に加入している	国民年金に加入している	加入していない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	42.3	19.2	15.4	23.1
	一般計(n=23)	43.5	21.7	17.4	17.4
	震災計(n=3)	33.3	0.0	0.0	66.7

社会保険の加入状況（公的年金）について尋ねたところ、「被用者年金に加入している」が 42.3%で最も高い。次いで「国民年金に加入している」が 19.2%となったが、その一方で「加入していない」が 15.4%となった。

② 生活保護受給の有無

質問 31 あなたは現在、生活保護を受給していますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：生活保護受給の有無 (%)

		受給している	受給していない
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	0.0	100.0
	一般計(n=23)	0.0	100.0
	震災計(n=3)	0.0	100.0

生活保護の受給状況について尋ねたところ、「受給していない」が100%となった。今回調査では「受給している」の回答はなかった。

③ 公的年金受給の有無

質問 32 あなたは現在、公的年金を受給していますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：公的年金受給の有無 (%)

		遺族年金を受給している	障害年金を受給している	老齢年金を受給している	受給していない
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	7.7	3.8	50.0	38.5
	一般計(n=23)	8.7	4.3	43.5	43.5
	震災計(n=3)	0.0	0.0	100.0	0.0

公的年金の受給状況を尋ねたところ、「老齢年金を受給している」が50.0%で最も高い。次いで、「受給していない」が38.5%となった。震災世帯では、「老齢年金を受給している」が100%となった。

④ 年金受給額

【質問 33 は、質問 32 で「1. 2. 3 受給している」とお答えの方にかがいます。】

質問 33 あなたの年金月額は何くらいですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：年金受給額 (%)

		5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20万円以上
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	25.0	12.5	37.5	18.8	6.3
	一般計(n=23)	30.8	7.7	38.5	15.4	7.7
	震災計(n=3)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0

あなたの年金月額をみると、「10～15 万未満」が37.5%、「5 万未満」が25.0%、「15～20 万円未満」が18.8%の順となった。震災世帯では5 万円以上の回答となった。

⑤ 児童扶養手当受給の有無

質問 34 あなたは児童扶養手当を受給していますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：児童扶養手当受給の有無（％）

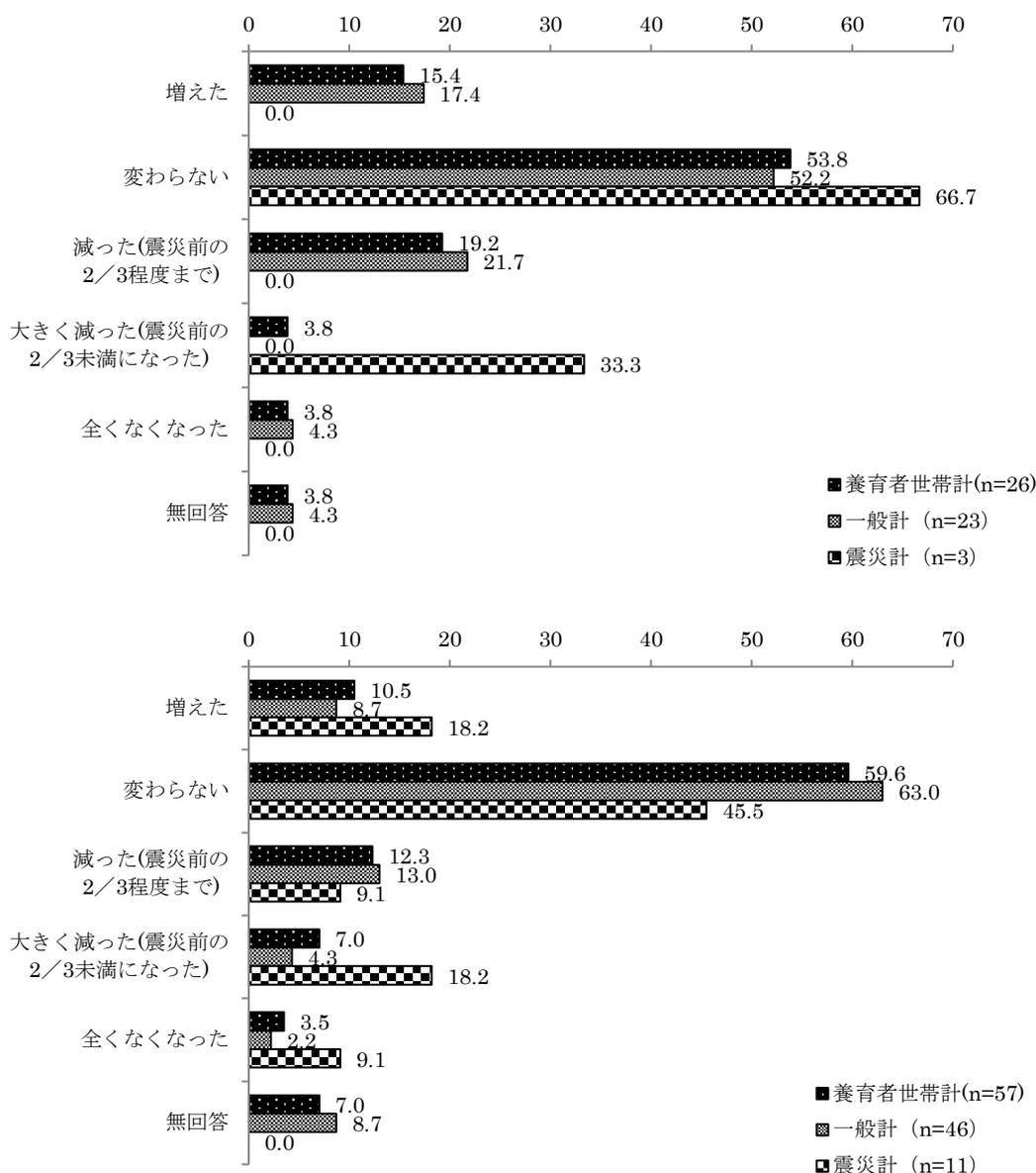
		満額受給している	一部受給している	受給していない	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	34.6	46.2	7.7
	一般計(n=23)	13.0	34.8	43.5	8.7
	震災計(n=3)	0.0	33.3	66.7	0.0

児童扶養手当の受給状況を尋ねたところ、「受給していない」が 46.2%、「一部受給している」が 34.6%、「満額受給している」が 11.5%となった。震災世帯は、「受給していない」が 66.7%となった。

⑥ 東日本大震災後の世帯の年間収入の変化

質問 35 東日本大震災後、世帯の年間収入は変化がありましたか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：震災後の世帯収入の変化（％）【上：平成 30 年度、下：平成 25 年度】



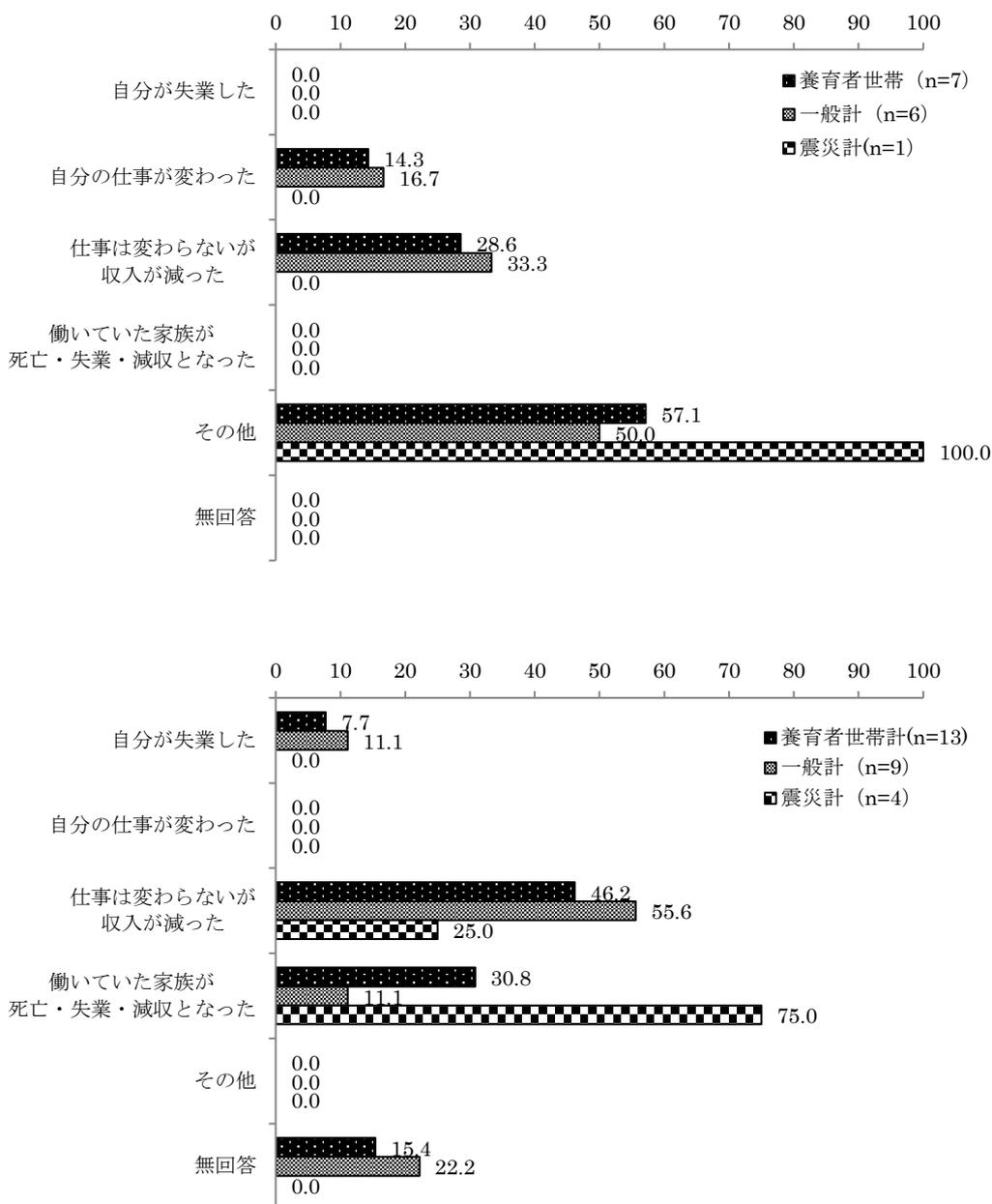
東日本大震災後の世帯年間収入の変化を尋ねたところ、「変わらない」が 53.8%、「減った（震災前の 2/3 程度まで）」が 19.2%となった。前回調査と比較すると、「変わらない」、「減った（震災前の 2/3 程度まで）」の順に変わりはみられない。「変わらない」が 5.8 ポイント低下した一方で、「減った（震災前の 2/3 程度まで）」が 6.9 ポイント上昇した。

⑦ 世帯収入が減った理由

【質問 36 は、質問 35 で「3. 減った、5. 全くなかった」とお答えの方にかがいます。】

質問 36 世帯収入が減った（全くなかった）主な理由は何ですか。【該当する番号 1つに○をつけてください。】

図：震災後の世帯収入の変化（％）【上：平成 30 年度、下：平成 25 年度】



世帯収入が減った（全くなかった）を尋ねたところ、「その他」が 57.1%で最も高く、次いで「仕事は変わらないが収入が減った」が 28.6%となった。前回調査と比較すると、「仕事は変わらないが収入が減った」が 46.2%から 28.6%に低下した。また、「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」が 30.8%から 0%に低下した。

(4) 子どもの状況について

① 子どものことで困っていること

質問 37 現在子どもさんのことで困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

図：子どもに関する困りごと・悩みごと（％）

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=26)			養育者世帯計(n=57)		
	一般計 (n=23)	震災計 (n=3)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)	
幼児の保育	0.0	0.0	0.0	3.5	2.2	9.1
小学校低学年児童の養育	3.8	4.3	0.0	5.3	4.3	9.1
教育・進学	46.2	39.1	100.0	49.1	45.7	63.6
しつけ	11.5	13.0	0.0	49.1	52.2	36.4
食事や身の回りの世話	7.7	8.7	0.0	21.1	19.6	27.3
非行・交友関係	3.8	4.3	0.0			
健康	11.5	13.0	0.0			
食事・栄養	0.0	0.0	0.0			
障害	23.1	21.7	33.3			
就職	7.7	8.7	0.0	10.5	10.9	9.1
結婚	0.0	0.0	0.0	3.5	4.3	0.0
その他	11.5	13.0	0.0	10.5	10.9	9.1
特に悩みはない	19.2	21.7	0.0			
無回答	3.8	4.3	0.0	7.0	8.7	0.0

子どものことで悩んでいることを尋ねたところ、全体としてみると「教育・進学」（46.2％）が最も多く、「障害」（23.1％）、「特に悩みはない」（19.2％）がこれに続いた。震災世帯では3世帯中3世帯が「教育・進学」と回答しており、「特に悩みはない」と回答した震災世帯はなかった。

前回調査より選択項目が増えているため単純な比較は難しいものの、「教育・進学」が主要な困りごとに変わりはない。また、今回調査の方が「しつけ」や「食事や身の回りの世話」の割合が小さくなっている傾向が見られる。

② 病気のときの子どもや身の回りの世話

質問 38 あなたが病気のとき、子どもの世話や、あなたの身の回りの世話はどなたに頼みますか。
 [該当する番号1つ(主なもの)に○をつけてください。]

表：病気のときの世話 (%)

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=26)			養育者世帯計(n=57)		
		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)
同居の親族	73.1	73.9	66.7	42.1	45.7	27.3
別居の親族	11.5	8.7	33.3	36.8	34.8	45.5
友人・知人	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	9.1
近所の人	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	18.2
ホームヘルパー等	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
家政婦、ベビーシッター等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童施設などのショートステイ	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
その他	7.7	8.7	0.0	7.0	8.7	0.0
誰もいない	7.7	8.7	0.0	5.3	6.5	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

病気のときに子どもの世話や身の回りの世話をする人について尋ねたところ、すべての世帯で「同居の親族」が最も高い。養育者世帯計で73.1%、一般世帯で73.9%、震災世帯で66.7%で、過半数を大きく上回る結果となった。

前回調査と比較すると、今回調査の方が「別居の親族」の割合が小さく、「同居の親族」の割合が大きい。

③ 学校が終わってからの子どもの過ごし方

【質問 39 は、小学校 1 年生から 3 年生の子どもさんのいる世帯にうかがいます。】

質問 39 子どもさんは、学校が終わってから主にどのように過ごしますか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：学校が終わってからの子どもの過ごし方 (%)

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=2)			養育者世帯計(n=18)		
	一般計 (n=2)	震災計 (n=0)		一般計 (n=13)	震災計 (n=5)	
自宅に親といる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自宅に同居の親族と一緒にいる	100.0	100.0	0.0	27.8	23.1	40.0
自宅に一人で又は子どもたちだけにいる	0.0	0.0	0.0	5.6	7.7	0.0
親戚の家	0.0	0.0	0.0	5.6	7.7	0.0
友達の家	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園や空き地	0.0	0.0	0.0	11.1	7.7	20.0
児童館	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学童クラブ(学童保育)	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	40.0
塾	50.0	50.0	0.0	5.6	0.0	20.0
その他	0.0	0.0	0.0	5.6	7.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	50.0	61.5	20.0

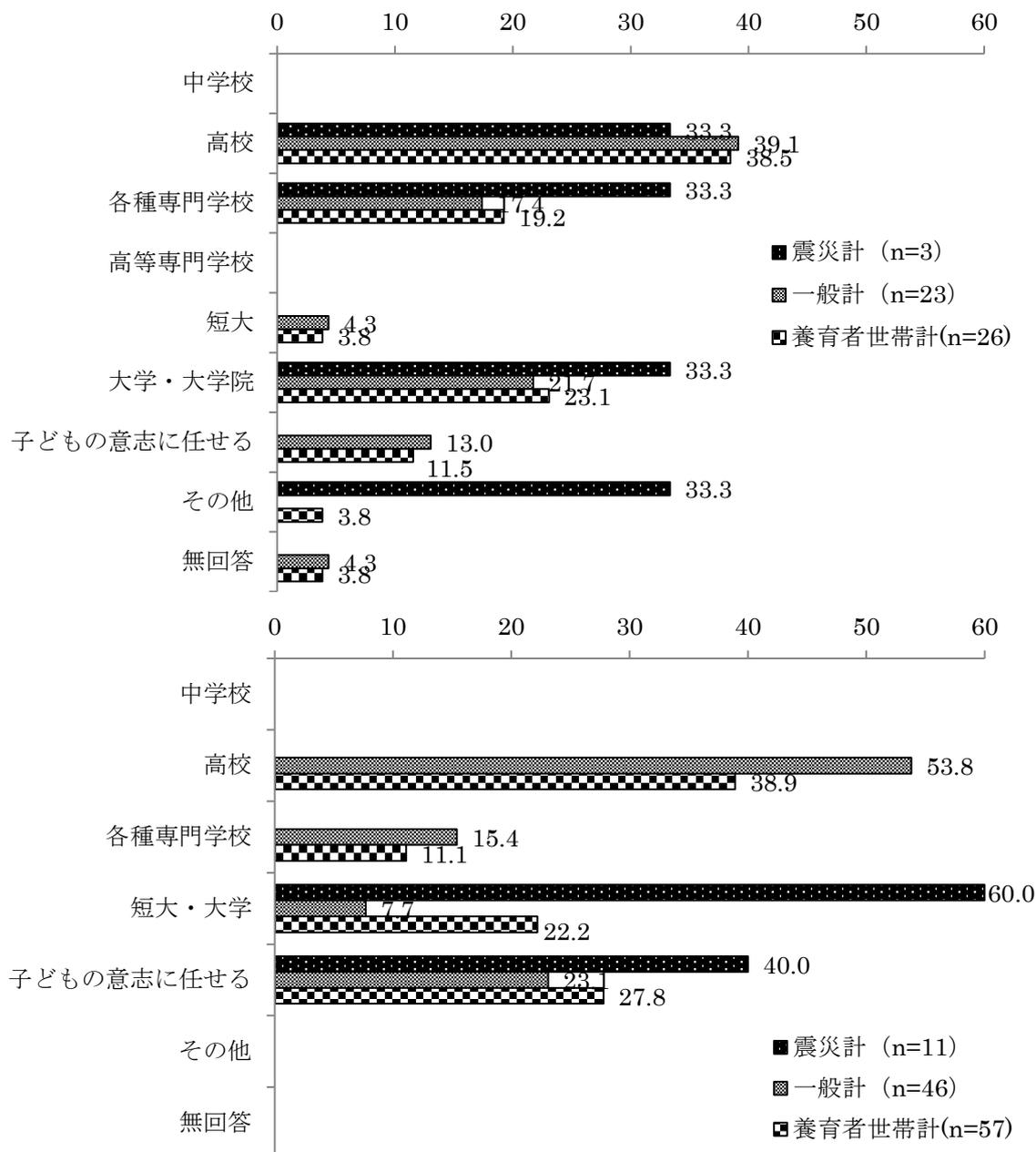
子どもの学校が終わってからの過ごし方については、小学校 1 年生から 3 年生の子どもさんのいる世帯にのみ尋ねているため、回答世帯は 2 世帯のみとなった。いずれの世帯も「自宅に同居の親族と一緒にいる」と回答しており、1 世帯は「塾」とも回答している。

今回世帯の回答数が少ないため前回調査との単純な比較は難しいものの、前回調査では「自宅に同居の親族と一緒にいる」や「塾」のほか、「学童クラブ」や「近所の公園や空き地」など他の選択肢への回答もあった。

④ 子どもの進学に関する考え

質問 40 子どもさんの進学はどこまでを考えていますか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：子どもの進路に関する考え（％）【上：平成 30 年度、下：平成 25 年度】

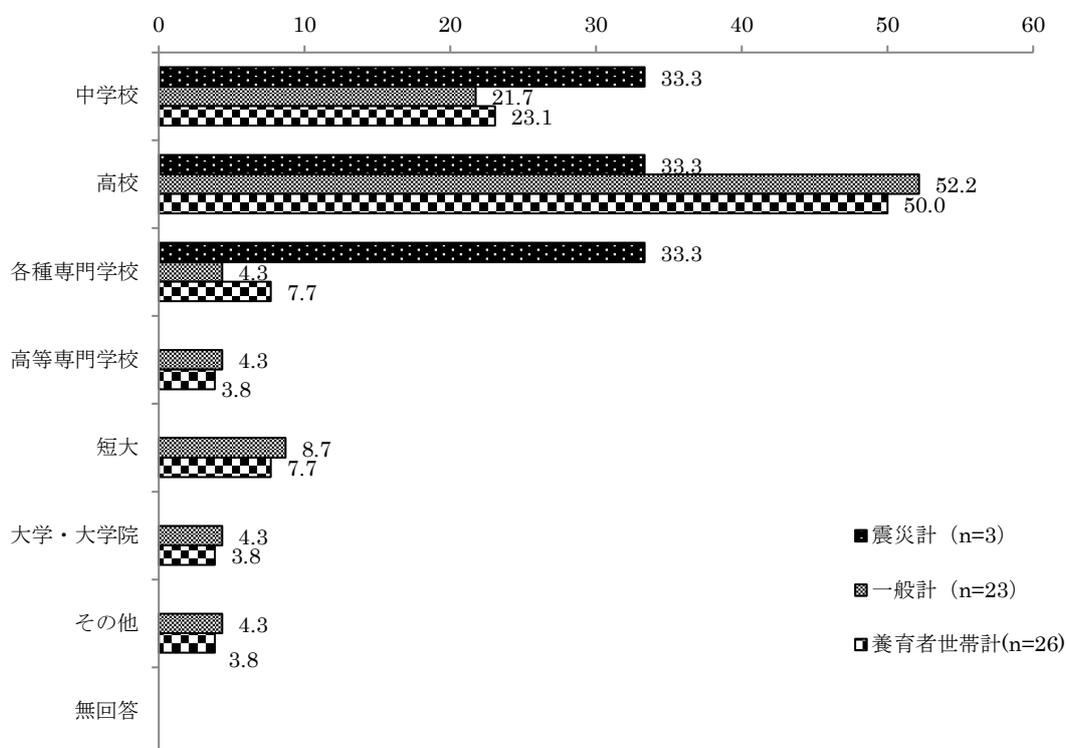


子どもの進学に関する考えについて尋ねたところ、すべての世帯で「高校」が最も高い。養育者世帯で 38.5%、震災世帯で 33.3%、一般世帯で 39.1%となった。

⑤ 最終学歴

質問 41 あなたの最終学歴は何ですか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

図：最終学歴 (%)【平成 30 年度】



最終学歴を尋ねたところ、すべての世帯で「高校」が最も高い。養育者世帯で 50.0%、震災世帯で 33.3%、一般世帯で 52.2%となった。

(5) 困りごとの状況

① 現在困っていること

質問 42 現在あなたが困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：現在の困りごと・悩みごと（％）

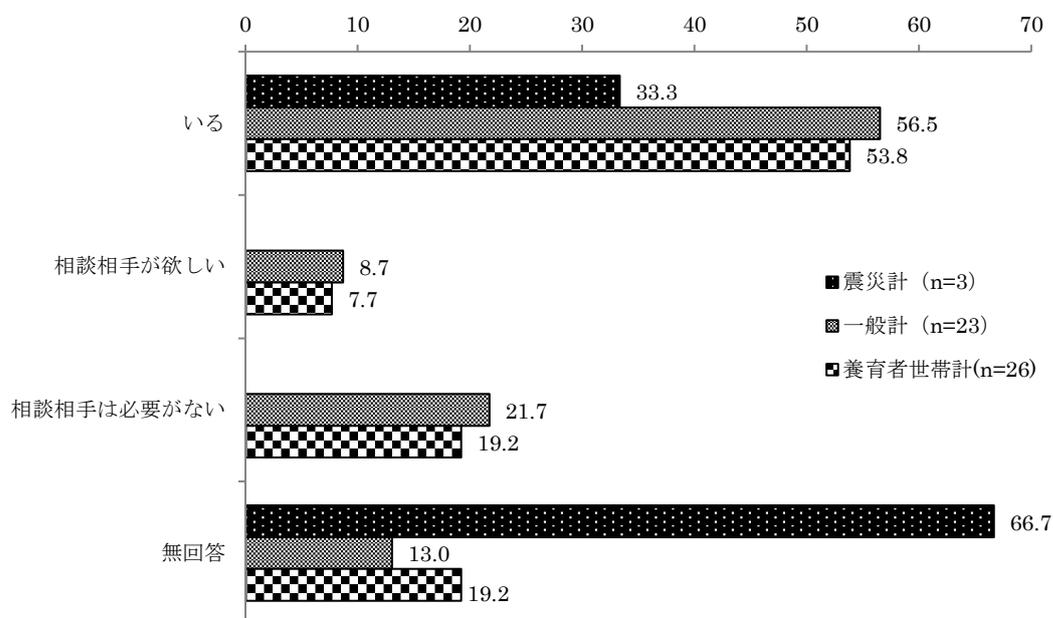
		生活費	仕事	住居	家事	健康	親族の健康・介護	相談相手	結婚	子どもの世話や教育	その他	特になし	無回答
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	46.2	7.7	3.8	0.0	34.6	15.4	3.8	0.0	34.6	0.0	15.4	0.0
	一般計(n=23)	52.2	8.7	0.0	0.0	34.8	17.4	0.0	0.0	30.4	0.0	17.4	0.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
平成25年度	養育者世帯計(n=57)	40.4	3.5	7.0	15.8	29.8		7.0	1.8	29.8	5.3		14.0
	一般計(n=46)	47.8	4.3	4.3	10.9	26.1		8.7	2.2	26.1	4.3		17.4
	震災計(n=11)	9.1	0.0	18.2	36.4	45.5		0.0	0.0	45.5	9.1		0.0

困っていること、悩んでいることを尋ねたところ、全体としては「生活費」（46.2％）が最も多く、「健康」と「子どもの世話や教育」（各 34.6％）がこれに続いた。前回調査と比較しても、全体的な傾向に変わりはない。

② 相談相手の有無

質問 43 あなたには相談相手がありますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：相談相手の有無（％）【平成 30 年度】



相談相手について尋ねたところ、全体としては「いる」（53.8％）が過半数を占める。「相談相手は必要がない」が約 2 割いる一方で、「相談相手が欲しい」（7.7％）は 1 割未満にとどまった。

③ 相談先

【質問 44 は、質問 43 で「1. いる」とお答えの方にかがいます。】

質問 44 心配ごと等の相談は誰（どこ）にしていますか。[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：相談先（％）

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=14)			養育者世帯計(n=57)		
	一般計 (n=13)	震災計 (n=1)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)	
民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	7.0	8.7	0.0
ひとり親家庭支援員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県母子・父子福祉センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母子父子寡婦福祉団体・ ひとり親家庭支援団体	0.0	0.0	0.0	8.8	10.9	0.0
県保健福祉事務所	0.0	0.0	0.0	12.3	10.9	18.2
児童相談所	0.0	0.0	0.0	5.3	6.5	0.0
市町村	28.6	30.8	0.0	1.8	0.0	9.1
家族・親族	85.7	84.6	100.0	59.6	56.5	72.7
友人・知人	7.1	7.7	0.0	19.3	17.4	27.3
NPO法人	7.1	7.7	0.0			
任意団体	0.0	0.0	0.0			
その他	7.1	7.7	0.0	5.3	6.5	0.0
相談相手はいない				10.5	10.9	9.1
無回答	0.0	0.0	0.0	5.3	6.5	0.0

心配ごと等の相談相手について尋ねたところ、すべての世帯で「家族・親族」が最も高い。養育者世帯計で85.7%、一般世帯で84.6%、震災世帯で100.0%の結果となった。前回調査と比較しても、「家族・親族」がトップは変わらないが、今回調査の方がその割合は大きくなっている。

(6) 福祉制度の利用状況

① 利用した福祉制度

質問 45 あなたが利用した（利用している）福祉制度は何ですか。

[該当する番号 5 つ以内（主なもの）に○をつけてください。]

表：利用した福祉制度（%）

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=26)			養育者世帯計(n=57)		
		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)
児童扶養手当	50.0	56.5	0.0	49.1	54.3	27.3
母子父子寡婦福祉資金貸付金	3.8	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0
生活保護	0.0	0.0	0.0	3.5	4.3	0.0
母子・父子家庭等医療費助成	30.8	34.8	0.0	49.1	52.2	36.4
各種奨学金	26.9	21.7	66.7	14.0	4.3	54.5
生活福祉資金	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
JR通勤定期の割引	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	9.1
就職相談・斡旋・職業訓練等	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0
その他	3.8	4.3	0.0	5.3	0.0	27.3
利用したことがない	15.4	17.4	0.0	7.0	6.5	9.1
無回答	3.8	0.0	33.3	10.5	10.9	9.1

利用した（利用している）福祉制度を尋ねたところ、「児童扶養手当」が養育者世帯で 50.0%、一般世帯で 56.5%と最も高い。「各種奨学金」は震災世帯で 66.7%と高い割合を示した。前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはない。

② 福祉制度を知ったきっかけ

【質問 46 は、質問 45 の福祉制度を 1 つでも利用した（利用している）方にかがいます。】質問 46 どのようにして福祉制度を知りましたか。[該当する番号すべてに○をつけてください。]

表：福祉制度を知ったきっかけ（％）

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=21)			養育者世帯計(n=57)		
	一般計 (n=19)	震災計 (n=2)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)	
国の広報誌	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県の広報誌	0.0	0.0	0.0	10.6	7.9	22.2
市町村の広報誌	28.6	26.3	50.0	31.9	34.2	22.2
保健福祉事務所職員	19.0	21.1	0.0	4.3	5.3	0.0
市町村職員	38.1	36.8	50.0	40.4	47.4	11.1
民生委員・児童委員	14.3	15.8	0.0	8.5	10.5	0.0
母子父子寡婦福祉団体・ ひとり親家庭支援団体	0.0	0.0	0.0	6.4	5.3	11.1
友人・知人	4.8	0.0	50.0	14.9	15.8	11.1
各種パンフレット・ ポスター	0.0	0.0	0.0	4.3	2.6	11.1
新聞・テレビ	0.0	0.0	0.0	6.4	2.6	22.2
インターネット(ホーム ページ)	0.0	0.0	0.0			
その他	9.5	5.3	50.0	10.6	2.6	44.4
無回答	14.3	15.8	0.0	8.5	5.3	22.2

福祉制度を知ったきっかけについて尋ねたところ、全体としては「市町村職員」（38.1％）が最も高く、「市町村の広報誌」（28.6％）、「保険福祉事務所職員」（19.0％）の順となった。前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはないが、今回調査では「保険福祉事務所職員」の割合が大きく上昇している。

③ 希望する福祉制度

質問 47 あなたが希望する福祉制度は何ですか。[該当する番号 3 つ以内に○をつけてください。]

表：希望する福祉制度（％）

	平成30年度			平成25年度		
	養育者世帯計(n=27)			養育者世帯計(n=57)		
		一般計 (n=24)	震災計 (n=3)		一般計 (n=46)	震災計 (n=11)
公的年金の増額	73.1	78.3	33.3	43.9	43.5	45.5
児童扶養手当の増額	38.5	43.5	0.0	33.3	39.1	9.1
生活保護費の増額	0.0	0.0	0.0	5.3	6.5	0.0
母子父子寡婦福祉資金 貸付金利率の増額	0.0	0.0	0.0	5.3	6.5	0.0
以外の貸付金制度の充 実	3.8	4.3	0.0			
母子・父子家庭等医療費 助成制度の充実	19.2	21.7	0.0	19.3	17.4	27.3
減税	30.8	26.1	66.7	26.3	28.3	18.2
公営住宅の優先入居	0.0	0.0	0.0	10.5	8.7	18.2
就職相談・斡旋、職業訓 練等	3.8	4.3	0.0	8.8	8.7	9.1
優先雇用	3.8	4.3	0.0	7.0	8.7	0.0
技能・資格取得のための 援助の充実	11.5	8.7	33.3	10.5	13.0	0.0
保育制度・留守家庭児童 に対する事業の充実	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	9.1
学習支援	30.8	34.8	0.0			
その他	0.0	0.0	0.0	5.3	6.5	0.0
希望する制度はない	0.0	0.0	0.0	5.3	2.2	18.2
無回答	0.0	0.0	0.0	8.8	6.5	18.2

希望する福祉制度を尋ねたところ、全体としてみると「公的年金の増額」（73.1％）が最も多く、「児童扶養手当の増額」（38.5％）、「減税」及び「学習支援」（各 30.8％）がこれに続いた。前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはないが、特に「公的年金の増額」の声が多くなっていることがわかる。